



〈はまぎん〉

ミライを創る

アクションプログラム

～こどもの未来を支援する活動募集～



2022年度（第1回）

実施報告書

2023年10月発行



あなたと共に。未来を育てる。

横浜銀行 | CONCORDIA  
コンコルディア・フィナンシャルグループ

## 本プログラムについて

本プログラムは、おもに神奈川県で社会課題解決に向けて活動している NPO 法人を対象に、当行が活動奨励金を支給することで地域の社会課題解決に貢献することをめざす取り組みです。

NPO 法人から SDGs の 17 の目標と関連した取り組みを募集・選考し、活動奨励金の支給団体は、そのアイデア・プランの実践のため、1 年間活動します。

## 2022 年度（第 1 回）実施概要

### 募集テーマ

SDGs ゴール1「貧困をなくそう」のうち、「こどもの貧困問題」の解決に関係する取り組み。ひとり親家庭、児童養護、ヤングケアラー等において、学習支援、食の支援、子どもや保護者の就労支援、ボランティア等の育成支援、相談支援など、教育や生活の安定・向上を支援するもの。

**活動奨励金** 1件あたり 50 ～ 100 万円の活動奨励金を支給

**選考方法** 書類選考、面接

**募集期間** 2022 年4月1日～5月31日

## 支給団体およびアイデア・プラン名

法人名	アイデア・プラン名	おもな活動地域
特例認定 NPO 法人 子ども支援センターつなぐ	チームで行う「食」を通じた自立支援	神奈川県を 中心とした地域
特定非営利活動法人 サードプレイス	児童家庭支援センターと連携した 地域生活支援のアウトリーチ基盤づくり	横浜市鶴見区
特定非営利活動法人 報徳食品支援センター	生活困窮家庭及びその子どもたちに 「幸福を感じる美味しい食品」の提供	小田原市

## 主催・後援・協力

主催：横浜銀行

後援・協力：神奈川県

協力：横浜国立大学、EMPOWER Project、  
浜銀総合研究所

チラシ制作：社会福祉法人 アール・ド・ヴィーヴル



2022 年 9 月 1 日に活動奨励金授与式を開催いたしました

横浜銀行は、引き続き子ども達の未来を支える活動への支援を通じて、地域経済の活性化に貢献していきます。

# 特例認定 NPO 法人 子ども支援センターつなぐ

おもな活動地域：神奈川県を中心とした地域 設立年：2019年



## 団体紹介

虐待、性被害、いじめ等の被害を受けた子どもに対し、多機関多職種（医療、福祉、司法、教育、保育、地域など）で連携し、被害直後からその後、自立するまで、子どもを中心にワンストップでサポートをおこなっています。

## アイデア・プラン名

### チームで行う「食」を通じた自立支援

虐待被害等で喪失経験を重ねた子ども・若者を対象に、伴走する支援者がチームを組み食料支援を実施しました。「食」を通じて自らの意思を伝える経験を重ねることで、生活力を向上させ、自己肯定感や生きるための力を育むことができるよう、チームで自立支援をおこないました。



提供した食料

## 1年間（活動）の成果

1年間で約20名の子ども・若者に対し、60回を超える食料支援をおこないました。伴走支援をおこなう中で、好きなもの、嫌いなものを把握していき、さらに支援の都度、ほしいものを必ず伝えてもらうことで、希望するものが届くように手配しました。コロナに感染し外出ができなくなったり、療養期間にアルバイトができず生活に困窮したりして、食料支援の依頼が急遽くることもありました。支援する子ども・若者の状況に寄り添いながら、生活状況を把握できるきっかけになることも多く、多くの支援者がその情報に助けられました。



外出同行支援

## 団体からの声・今後の活動などについて

伴走する子ども・若者の数も増えてきた時に活動奨励金をいただけたことで、子ども・若者の「ご飯を送ってほしい」という思いに応えることができたと思います。また、支援者とながりがたくなっている子ども・若者にとっても、食糧支援はお願いしやすく、メリットがわかりやすい支援とも言えます。本アイデア・プランを通じて、支援としてのつながりを深め、他のサポートにつなげることもできました。



# 特定非営利活動法人 サードプレイス

おもな活動地域：横浜市鶴見区 設立年：2017年



## 団体紹介

横浜市鶴見区で、「子どもたちには、サードプレイスをおとなたちには、子どもたちと出会える場を」をテーマに、子どもたちの居場所を作っていく取り組みを進めています。「すべての子どもたちに『頼れる大人』が身近にいる地域を作る」ことをめざし、地域、関係機関と連携し、居場所、相談支援機関、活動拠点を運営しています。

## アイデア・プラン名

### 児童家庭支援センターと連携した地域生活支援のアウトリーチ基盤づくり

鶴見区に住む、ミドルリスク層とするひとり親世帯向けに食料品の提供を月1回実施。提供を通じてつながったひとり親世帯からニーズやお困りごとを聞き取り、地域の活動につなげていくことを目的としています。同時に、児童家庭支援センターと連携することで、ひとり親で孤立しがちな保護者（おもに母親）の相談支援につなぎ、より世帯の安定のための包括的な支えを作る取り組みをおこないました。



提供した食料品セット

## 1年間（活動）の成果

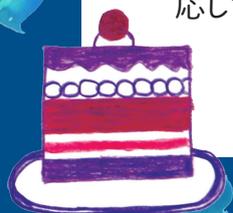
些細なことでも「頼れる人」が自分の住む町にすることで、孤立や孤独を防ぐことができていると思っています。「頼れる人」に出会ってもらうためには、従来の「待つ福祉」から「向かう福祉」への転換が必要と考えて実施した本活動は、子ども家庭支援の中核となる児童家庭支援センターと連携した、アウトリーチの基盤として地域に形を示すことができました。相談をためらっていた方に、私たち活動者側からアプローチすることで、早期に対応することができました。児童家庭支援センター側からは、なかなかお困りごとを抱えている人を把握することはできません。そのような中で、食料品を仲介としたアウトリーチの手法はとても親和性が高いと思っています。



「サードプレイス応援団」のメンバー募集中

## 団体からの声・今後の活動などについて

食料品の配達だけではなく、フードパントリーやコミュニティカフェ、お弁当配達など、アウトリーチとの親和性の高い取り組みが数多くあります。また、横浜市鶴見区の人口規模を考えると、対象となる方や必要としている方は、まだまだたくさんいると考えられます。そのすべてにできる限り対応していくために、資金や人材を数倍の規模で集めていかなければいけないことがわかりました。





## 団体紹介

小田原市を中心とする2市8町をおもな活動地域として、2020年2月からフードバンク活動を開始し、折からのコロナ禍で影響を受けた方への支援に奔走しました。現在は、物価上昇に苦む低所得者層を重点に活動しています。2022年度は、78トンの食品を配付しました。

## アイデア・プラン名

### 生活困窮家庭及びその子どもたちに「幸福を感じる美味しい食品」の提供

毎月1回、小田原市とその周辺4市町（南足柄市、大井町、開成町、箱根町）のひとり親会の親（母または父）を対象に、誕生日を迎える月に、お寿司やケーキをプレゼントしてお誕生日をお祝いする取り組みをおこないました。1年間で、168人の親にお祝いをしました。握り寿司の数は、家族の人数に合わせて準備して、お誕生日をお祝いする日は家族全員で楽しめるように配慮しました。



お誕生日のメッセージカード付きのお寿司とケーキ

## 1年間（活動）の成果

ひとり親家庭の親たちは、日頃仕事とこどものお世話に追われて自分の誕生日を祝う機会などありません。今回、私たちがこどもたちに代わって「お母さん（お父さん）おめでとう」の機会を設けたことで、心から喜んでいただけました。お寿司を受け取られるまで、今日はなぜ呼ばれたのかよくわかっていらっやらない方も多く、説明を聞いて涙ぐむお母さん（お父さん）は毎回必ずいらっやいました。そのうれし涙を見るだけで、この企画が成功したなあと感じました。



お誕生日のメッセージカード

## 団体からの声・今後の活動などについて

福祉活動に携わる方から良い企画だと褒めていただきました。しかし、毎年同じ企画を繰り返すとマンネリ化してしまうので、本アイデア・プランはこの1年間で終了することにしました。少し間を置いて何年か後にひとり親家庭のお母さん（お父さん）向けのこどもたちと一緒に祝いする企画を考えたいです。

